



報道関係者各位

2015年9月18日

ハンファQセルズジャパン株式会社

Qセルズ太陽電池モジュール「Q.PLUS」が “Solar Industry Award 2015” (※1) Module Manufacturing Innovation (革新的なモジュール製造)部門で優勝



- 専門家がショートリストに選出した製品に対し、業界関係者 7 万人が投票。
Q.PLUS-G4 270-280 Wp が Winner に選出される。
- Qセルズ独自の“Q.ANTUM セル技術”による高効率が決め手となる。

ハンファ Q セルズジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 キム・ジョンソ 以下「Q セルズ」）は、Qセルズの多結晶モジュール「Q.PLUS-G4」が、Solar Industry Award 2015 (※1)の革新的なモジュール製造部門において、投票の結果 1 位となったことをお知らせいたします。2015年9月15日に独・ハンブルグで授賞式がおこなわれました。

Solar International 社 (※2)が主催する“Solar Industry Award”は、13 のカテゴリからなり、各カテゴリにおけるショートリストを、太陽光業界の専門家や関係者からなる審査団が選出します。そのリストに対し Solar International 社が依頼した会員約 70,000 人が 2 か月間投票を行いました。その結果、今回 Q セルズが Module Manufacturing Innovation(革新的なモジュール製造部門)で優勝いたしました。

今回、Qセルズが独自に開発した「Q.ANTUM セル技術」(※3)を用いた Q.PLUS-G4 は多結晶モジュールでありながら、最高 280Wp の出力を実現と、実際の発電環境において優れた発電効率を発揮するという革新性が特に評価されました。

受賞に際し、Qセルズ R&D (研究開発) 部門の責任者、ヨルグ・ミュラー (Jörg Müller) は、「わたしたちは、“Solar Industry Awards 2015”において、初めての優勝、特に Q.ANTUM 技術が評価されての今回の結果をととても嬉しく思っています。私たちの開発してきた技術を認めてくださり、投票してくださった太陽光産業関係者のみなさまに、心より感謝します。」と喜びを語りました。

また Solar International の発行責任者であり、Solar Industry Awards の委員長であるジャッキー・キャンノン氏 (Jackie Cannon) は「今回の審査団がノミネートした Q.ANTUM 技術を採用した Q.PLUS-G4 を、太陽光産業関係者の多くが優れた製品だと認めた結果です。私たちは、Qセルズに賞賛を送るとともに、今後の太陽光業界の発展に貢献されることを期待しています。」と Qセルズの受賞を称えました。



Qセルズは、日本でも、この Q.ANTUM 技術を用いた Q.PLUS 製品の販売を開始しており、環境先進国ドイツで培った経験及び実績をもとに、永続的にクリーンな電力を提供できる太陽光発電システム販売・発電事業を展開しています。今後、さらに日本の住宅用の屋根に適した太陽光発電システムを提供する体制を強化し、日本における再生可能エネルギーの柱である太陽光発電の普及・発展に寄与してまいります。

※ 1 Solar Industry Awards について

“Solar Industry Awards”は、「Solar International」という、太陽光産業全般における革新的な技術、製品、サービスの可能性について紹介しているメディア（英・米）が 2008 年より運営している。“Solar Industry Awards”は、13 のカテゴリからなり、限られた審査団による選出ではなく、2 カ月の間に約 7 万人の太陽光業界関係者による Web 投票で、その分野における最優秀者を決定する賞。

www.solarinternationalawards.net

※ 2 Solar International

アメリカ・英国に拠点を置き、太陽光業界の幅広い分野におけるニュース配信、イベント、カンファレンスなどをおこなっている。

www.solar-international.net/

※ 3 Q.ANTUM セル技術

Qセルズの独自技術で、特殊なナノ・コーティングが施された Q.ANTUM セルの裏面により、従来は無駄になっていた太陽光のエネルギーを、セル裏面の層で閉じ込めることで活用度を高めることで、発電量を増加させる技術。

www.q-cells.jp/products/pdt_quality/q-antum

【ハンファQセルズについて】

ハンファグループ内の太陽光関連企業 2 社が合併され、2015 年 2 月にハンファ Q セルズ（NASDAQ:HQCL）となる。“Engineered in Germany”のブランドコンセプトのもと、ドイツ R&D 本社から、先進的な技術や革新的な研究開発をグローバルに展開するとともに、ハンファグループのネットワークを活かし、欧州、北米、アジア、南米、アフリカ、中東諸国でビジネスを展開している。生産施設はマレーシア、中国、韓国、一部ドイツに保有し、セル生産能力は 3.7GW で世界トップクラス（2015 年 6 月現在）。太陽光セル・モジュール・システムの開発・生産・販売、発電所建設および EPC（設計・調達・建設）事業など太陽光ビジネスの全ての分野でソリューションを提供している。

URL: <https://www.q-cells.com/>

<http://investors.hanwha-qcells.com>

【ハンファQセルズジャパン株式会社について】

1984 年に韓国最大手企業であるハンファグループの日本法人として設立。2014 年 3 月に設立 30 周年を迎えた。太陽光発電関連事業（太陽光モジュール輸入販売、IPP 事業）をはじめ化学品、鉄工、機械・設備、自動車部品、IT 関連機器等、多分野にわたる基幹産業のアジア諸国間での輸出入業務と日本市場での販売事業を展開している。2011 年より日本の太陽光事業に参入し、ドイツ生まれの Qセルズの技術力を活かした太陽光モジュール、システム開発・生産・販売、発電所事業など幅広い分野でビジネスを展開している。日本向け出荷量の累計は 1.7GW（2015 年 7 月現在）、2013 年には外資系太陽光モジュールメーカーとして国内出荷量で 1 位となる。

URL: <http://www.q-cells.jp>